

豊橋市老連だより

吉田春秋



第48号

■発行 / 豊橋市老人クラブ連合会 ■編集・印刷 (株)博報社 / 名古屋市北区稚児宮通1-56 ☎0120-0212-09



スポーツ日和となった11月30日、「第21回豊橋市シルバースポーツ中央大会」が開催されました。

今年度から参加者の要望や熱中症対策などにより開催時期を変更。過ごしやすい気候の中、約400名が参加し、各種目で熱戦が繰り広げられました。



ブロック 総合優勝	牟呂ブロック		
ブロック 総合準優勝	石巻ブロック		
種目別結果	ゲートボール	優勝	花田校区
		準優勝	つつじが丘校区
		第3位	嵩山校区
種目別結果	ペタンク	優勝	細谷校区
		準優勝	賀茂校区
		第3位	高師校区
種目別結果	グラウンド・ゴルフ	優勝	花田校区
		準優勝	東田校区
		第3位	多米校区

第21回 豊橋市シルバースポーツ中央大会



総合優勝の牟呂ブロック



総合準優勝の石巻ブロック

各種スポーツ大会写真集

※結果は2面



県老人クラブゲートボール大会



県老人スポーツ大会



ペタンク大会



グラウンド・ゴルフ大会



ゲートボール大会

私たちは、豊橋市老人クラブ連合会の活動を応援しています



「絆」

豊橋市長 佐原 光一

新年明けましておめでと
うございます。

豊橋市老人クラブ連合会
会員の皆様方におかれま
しては、心新たに健やかに新
年をお迎えのこととお喜び
申し上げます。

さて、昨年は豊橋市政に
おきましても高病原性鳥イ
ンフルエンザの発生、東日
本大震災被災者への支援活
動や節電夏の陣として「豊
橋版サマータイム」の実施、
ドイツのヴォルフスブルク

市との友好協定の締結、そ
してアジアソウの赤ちゃん
マラーの誕生など、記憶に
残る出来事の多い年であり
ました。

このような出来事を通じ
て、これからの豊橋を活力
と人間味あふれるまちに、
そして人と人との繋がりが
「絆」を大切にしたまちづ
くりを努めなければならな
いと改めて痛感した年でも
ありました。

わが国は少子高齢化がま



新年度に向かって

豊橋市老人クラブ連合会
会長 富安 貞夫

新年明けまして、おめで
とございます。会員の皆
様におかれましては、希望
に満ちた新しい年を迎えら
れたことと拝察申し上げます。
日頃は市老連の事業に
ご理解とご協力をいただき
ありがとうございます。

さて23年を振り返ってみ
ますと、我が国は過去に経
験したことのないような大
きな災害が発生しました。
東日本大震災に始まり、福

島第1原発の放射能漏れ、
食料品の汚染と、現代の
科学技術でもなかなか収ま
らない状態で、今も多くの
方々が厳しい日々を過ごさ
れています。市老連と致し
ましたも、緊急会議で決定
し、義援金を送らせてもら
いました。ご協力を感謝致
します。

世の中は何が起こるか分
からないわけですが、東海、
東南海、南海の大地震が発

生ずる進行し、2010年
には高齢化率が23・1%と
「超高齢社会」の目安とな
る21%を大きく超えていま
す。また、本市においても
昨年4月には19・9%にま
で上昇しており、「超高齢
社会」が間近に迫っており
ます。

このような社会環境の中
で、健康で生きがいを持つ
て暮らしていくためには、
老人クラブ会員の皆様方が
地域との交流を大切にしま
う。「絆」を深める活動が
大変重要であります。

現在、各地域の老人ク
ラブでは高齢者の方々へ
の「見守り」、「励まし」を
目的に交流を深める「一
生するだろう」と言われてい
ます。天変地異について
は、人間は全く無力といえ
ると思いますが、あまりそ
のような心配ばかりしてい
ては生きていきません。災
害時に対する準備の必要
はありますが、我々高齢者
は長年の人生経験や、実際
を知っているはずで、あ
まりよくよくないで老人
クラブの同志で、楽しく暮
らすようにすることが大切
だと思えます。

私の本年度の方針とし
て、会員増強を進めると約
束を致しました。増強担当
を立ち上げ、資料も作成し、
自治連合会長様にも協力依

運動、「友愛訪問」等の活
動を展開し、また、世代間
交流として「三世代交流事
業」にも取り組んでおられ
ます。今後、更なる地域活
動を展開していくためには
皆様方が主役となってい
た、長年培われた知識・
経験をもとに地域活動を深
めていただくことをお願い
するとともに、本市とい
たしましてもできる限りの協
力と支援をしてまいりたい
と考えております。

最後にになりましたが、年
頭にあたり豊橋市老人ク
ラブ連合会会員の皆様この
1年のご発展とご健勝を衷
心よりご祈念申し上げます。



スポーツニュース ※写真1面

第13回 高齢者ペタンク大会

優勝	細谷 A
準優勝	高豊 B
第3位	高師
第4位	牛川 C
第5位	芦原
第6位	細谷 D
第7位	大村 A
第8位	牛川 B

第13回 高齢者グラウンド・ゴルフ大会

日時/10月20日
場所/豊橋球場
参加人員/約600名

総合優勝…戸澤 豊(吉田方)	
優勝	A 戸澤 豊 吉田方
準優勝	B 濱田 雅雄 牛川
第3位	C 白井 允 多米
第3位	D 神藤 進 芦原
総合優勝…加納 愛子(東田)	
優勝	A 河合よしの 梶 汐田
準優勝	B 山口久美子 花田
第3位	C 田中きよ子 高豊
第3位	D 加納 愛子 東田
第3位	E 平野喜久子 花田
第3位	F 柵木 早苗 老津

第35回 高齢者ゲートボール大会

日時/11月1日
場所/豊橋市陸上競技場
参加人員/約120名

優勝	嵩山
準優勝	西郷
第3位	小沢 A・津田

第30回 愛知県老人クラブゲートボール大会

9月14日安城市総合運動公園にて。豊南チームが3位入賞!

第39回 愛知県老人スポーツ大会

10月8日あいち健康の森公園にて。ウォークラリーで6位入賞!

第7回 愛知県老人クラブグラウンド・ゴルフ大会

10月8日あいち健康の森公園にて。牟呂・汐田チームが参加。

私たちは、豊橋市老人クラブ連合会の活動を応援しています

《第20回 チャリティーバザー》

今年も女性部チャリティーバザーを8月31日より2日と半日、豊橋市民文化会館で開催致しました。



準備が1カ月前より始まり順調にいき、搬入手順など会長さん方に指導して

いただき、交通事故もなく無事搬入できました。理事さん方の協力もあり、仕分け・袋詰めなど手際良くいきました。

開催初日は朝早くから大勢の方々の列が並び、多くの品物が売れていきました。女性部の方々の「こんにちは」「ありがとうございます」の声かけと笑顔。品物をバザーに出して下さった多くの方々の善意と、皆様の協力に感謝お礼を申し上げます。来年も皆様のご来場と笑顔をお待ち致しております。



(女性部長 藤村 和子)

絵画、ぬり絵、ちぎり絵、木版画、絵手紙、写真、短歌、書道、南画、水墨画、手工芸、華道などに312点が出品され、前年度を43点上回った。前々年度に対しては、93点の増加であるので、



8月31日(水)～9月2日(金)の3日間にわたり、豊橋市民文化会館展示室において、第43回高齢者趣味の作品展が開催されました。

第43回 高齢者趣味の作品展

年々増加していて、来年在り、作者の熱意が感じられるものばかりでした。



一方、3日間の入場者数は677名であり、前年度より100名近い減少でした。数字にこだわらるわけはないですが、減少するより多い方がよい。残念ですが、最終日にやってきた台風の影響が大きかったと思います。来年度は、秋晴れの下で開催したいものです。

(広報文化部長 日野 義久)

演芸大会の前日に行われた主催者側のリハーサルも無事に終了し、翌日9月1日の開催を迎え、早朝より多数の人が会場前に並んで待つていました。事故のないように注意を払い、開会の時間となりました。主催者のあいさつで演芸大会が始まりました。19施設の代表者より歌謡曲18組、舞踊4組、民謡・民謡・童謡唱歌・詩吟・健康体操各3組、新舞踊・ダンス各2組、大正琴・フォークダンス・健康づくり各1組の



第34回 高齢者趣味の演芸大会

計44組、603名の出演でした。20番目の歌謡曲の「あかね空」で午前の部を終了し昼の休憩になり、午後の部を大正琴の「風雪流れ旅」より再開しました。出演者は日頃の練習の成果を発揮し、衣装もすてきで熱演されました。観客の声援を受け会場も盛り上がりました。

なお、演芸大会で特に目についたのは舞踊と新舞踊で、舞台衣装の和服も華やか



会も予定通り無事終了し、来年も多数参加してください。藤村 増男

(生きがい事業推進部長 藤村 増男)

第48回 豊橋市高齢者福祉大会

8月31日(水) 市内公会堂にて、第48回豊橋市高齢者福祉大会が開催されました。式典にはダイヤモンド婚および、金婚を迎えられるご夫婦が多数参加され、老人クラブ会員の



ダイヤモンド婚・金婚祝詞贈呈

施設にて習字指導のボランティアをして下さっている小久保成美さんと前田千賀子さんに、老人福祉事業功労者として市長感謝状が贈呈されました。式典ではその他に結婚当時から新聞記事をまとめ



大正琴と歌による童謡・唱歌 (アトラクション)

私たちは、豊橋市老人クラブ連合会の活動を応援しています

校区・単位クラブ活動

豊校区

豊校区連合会日帰り旅行

西岩田親睦クラブ 佐藤 信之

今回は豊校区連合会の日帰り旅行があり、朝7時頃より小雨模様の天候の中、集合場所の地区市民館へ参加会員の方々が続々と集まり、バスの到着を待ちました。1号車は三の輪三町で43名、2号車は春日町と西岩田の41名が乗車。2台のバスで出発しました。

豊川インターより東名高速、伊勢湾岸道路を走り、知多半島道路を経由して最初の目的地である半田の「新美南吉記念館」に向かいました。途中一色の「えびせんべいの里」に寄り、試食品を味見し、無料サー



ビスのコーヒーを頂きました。そして予定時間の通り記念館で40分ほど見学した後、一路昼食場所の「まるは食堂旅館」へ向かい、11時30分頃着きました。この旅館はテレビでも度々放映されメインの「ジャンボエ

ビフライ」をはじめ海鮮料理で有名な場所です。昼食後バスで近くの鮮魚みやげ店で新鮮な魚介類をみやげに買い込みました。

その後、南知多道路よりセントレアラインを経て本日の主な目的地である中部国際空港に到着しました。約1時間半の見学時間がありましたので、送迎デッキに出て晴れ上がった上天気の中、国内線や国際線の航空機が絶え間なく発着する模様を見物してその度に見物者から歓声があがりました。その後3階の構内にある商店街で物色。皆様それぞれに買う物をして時間に間に合うよう集合場所へ急ぎました。帰りのバスはテレビでビデオ映画を鑑賞しながら午後6時頃無事豊橋に到着しました。

松山校区

春・秋の親睦慰安旅行で 2200キロ超の長旅を楽しむ!!

大国町寿会 金田 好正



紅葉の谷川岳ロープウェイ山頂で記念撮影

散策と自然の美しさが素晴らしい鳥取砂丘、山陰三朝温泉の旅」10月には「谷川岳ロープウェイで空中散歩と少林山達磨寺参拝と水上温泉の旅」と称して二つの旅行合わせて2200キロメートルの距離を観光バスで走破、豊橋から九州熊本を往復したことになります。

松山校区老人クラブ連合会の平成23年度の恒例の親睦慰安旅行は5月に「白壁土蔵と赤瓦の小京都・倉吉

など、広いグラウンドいっぱいには歓声と喚声が沸きあがっていました。天気もよく、暑さにも負けず楽しい交流会になりました。子どもたちの声「今度は、ホールインワン賞を取るぞ!」。



ルールやマナー、打ち方などを指導するクラブ責任者の伊藤さんと子どもたち

もう一回やらして!」「ダメできないよ!、ルール違反になるぞ。失格に!」

練習(遊びかな?)をしています。会員は17名です。

飯村校区

グラウンド・ゴルフで交流会

東山シルバークラブ 原 芳夫

夏休みに入って最初の土曜日7月23日、白ヶ池公園のグラウンドで子ども会と一緒にグラウンド・ゴルフを通して交流会をしました。朝8時から始まりお昼近くまで掛かりました。

30人の子ともと子ども会の役員とグラウンド・ゴルフサークルの面々の総勢50人でワイワイやりました。

各学年別六つのグループで8ホール、2回戦をやり、総合得点の高い順に個人賞、ホールインワン賞などの名目の賞を作り交歓をいたしました。

各グループに、サークルのメンバーを審判として配し、子どもも大人も「エー」「オー」とか「もちよいだった」「ア、今の失敗、

東山シルバークラブのグラウンド・ゴルフサークルは週2回、火・木、白ヶ池公園グラウンドで朝9時から約2時間練習(遊びかな?)をしています。会員は17名です。

旅にかかわらずどんな行事にも、参加者から「参加して良かった」と言われるような行事のあり方に心配りをして計画をすることの大切さを痛感いたしております。

私たちは、豊橋市老人クラブ連合会の活動を応援しています

校区・単位クラブ活動

岩田校区

ウォーキングを楽しむ

岩田校区老人クラブ泉会
村井 義弘

岩田校区老連のウォーキング事業第3回を11月24日に行いました。

日中の気温13度と冷え込みはしたものの快晴に恵まれ、集合場所の岩田校区市民館に向いました。

てしまふよ」と言う声が聞こえ、ほっとし、勇気ももらいました。

午後1時30分、阿部弘子先生の指導でストレッチ体操で身体をほぐし、またゲームを楽しみ、3時から岩田運動公園までウォーキングをしました。

その車中、私は心の中でこの寒い日にウォーキングかと思っていたところ、同行した女性会員の中から、「こんな日こそ頑張つて歩かなければ身体が硬くなつ

運動公園の中にある水神池の外周をひと回りし、晩秋の日射しを身体にうつけ、また会員同士が会話を楽しみなが、良いひとときを過ごすことができたと思っ



ています。
私は会員の皆さんの晴れやかな表情を見て、健康であることの喜びを実感しました。

岩田校区

活動の意義を見直そう

岩田校区老人クラブ連合会
石川 房代



す。「今年も雑巾お願ひしますね!」返ってくる言葉「針に糸が通らなくてね!」と言われると「無理しなくてもいいよ」と引きさります。

そんな時、北岩田三区福寿会では公民館に集まって制作する聞き、見学に行きました。当日都合の悪い人は自

岩田校区老連でも、手縫いの雑巾を作り校区内の小・中学校へ寄贈してい

宅で作って届けてくださいます。一方、腰を曲げて手押し車を押して作りに来る

方、テーブルを囲んで「〇〇の嫁です」「〇〇さんは元氣だかん」など、世間話に花を咲かせながら、針に糸を通してもらって雑巾作りを楽しんでいました。そのような様子を見て、私は思いました。「この活動は単に物を作って学校に届けるだけではない、その行為以上の価値があるということ。地域のコミュニティが崩壊し、住民同士の絆がうすれていると言われて久しいが、ここには温かい絆が生きているのだと。一つのことをするにも、発想の違いで人が生かされたりする。私の所属する中岩田長寿会には文化サーク

多米校区

あそびの学校

第三和来会
小村とみ子

11月12日、民俗資料収蔵室広場にて地域交流のイベントを行いました。多米の自治会・小学校PTA・老人クラブでつくる実行委員会が主催の内容を掲示、子どもはそれを見てどこで遊ぶうか考えて受付。子ども500人、大人300人が集まり、48のブースが設けられ老人クラブは昔遊び9種類の体験コーナーを設置しました。一つの遊びに2人付き、私と友だちはけん玉を担当。子どもと一緒に練習し、大声で叫びながら玉が上に乗るとお互いに拍手し笑顔に。スタンプを押してあげました。26回できた男子もいて、「けん玉チャンピオンになるね」と皆さんで笑顔。隣りにはおはじき、お手玉、あやとりと、女子が賑やかに。

数え手を放すと大きな音がして米センベイが出来上がり。役員の方が作った焼きそば、豚汁、団子も美味しい。一番たくさんのスタンプは20のブースを訪れた子ども。よく頑張りましたね。夢中になって遊ぶ一日、一緒に過ごす皆さんの笑顔があふれていました。15時スナック集合。けん玉チャンピオン1人、あそびの学校表彰状と優勝旗が贈られ、皆で拍手しました。

音楽、紙芝居、太鼓演奏、ポン菓子作りを体験しました。小さじ一杯の米を丸型の中に入れ、1・2・3と

「おいしいちゃんおばあちゃんありがとう」「おじさんおばさんありがとう」「お父さんお母さんありがとう」「チャンピオンおめでとう」と大声で合唱。私は感動して涙が滲みました。温かい拍手で終わりました。後片付けを終え、16時閉校。役員実行委員の皆さん、ありがとうございました。



ル(絵手紙中心のサークル)があります。自分が楽しんでるだけではなく、社会貢献になればと友愛訪問の時お見舞い品に作品を添えたり、敬老の日に高齢の会員に贈ったりして殊のほか

喜ばれ、それがメンバーの励みにもなり、喜んでいきます。
自分たちの活動が人様の幸せにつながることを意識して、今後も活動を広げてゆきたいものです。

私たちは、豊橋市老人クラブ連合会の活動を応援しています

校区・単位クラブ活動

新川校区

歩こう会に参加して

新川校区老人クラブ連合会
小川 幸男

10月は年度の中央であり、活動を充実させるのに大切な時期だ。10月に2回の校区歩こう会を実施した。その中の2回目の歩こう会を報告する。

◎10月16日（日）晴天、参加者30名

◎目的／約1kmを歩き体の機能を活発にさせる。校区の宝物を観察し、自己の開発を図る。

◎見学場所は4カ所（番号で概略を報告する）。

①中世古町の清宝寺（真言宗醍醐派）



清宝寺境内にて

ご住職の対応が始まる。全体の内容がわかるようにプリントを用意してください。本堂の仏様、特に前立ちの不動明王・三尊蔵王権現など参拝。中でも孔雀明王は優しさが伝わってき

た。孔雀が羽根を広げている体の上に美しい女性の明王様が座っていらっしゃる。高野山などでしか拝見できない珍しい仏様に一同感激した。境内には護摩壇弘法大師像があり、頭を下げて次へ向かった。

②竜拈寺境内の記念碑（計13の記念碑・墓）
特に次の記念碑には、深く黙祷を捧げた。

③魚町能面の鑑賞
豊橋観光ボランティアガイド元会長長原田守尉様、奥様が彫刻家の原田ちよ子様

④魚町神宮寺、身代わり地藏様など参拝

（参加者の感想）
新川校区にこんなたくさん宝物があった。感動で疲れも吹っ飛んだ。

東田校区

歩け歩け東田（パート3）

親和会
森下 佐六

市電「運動公園前」下車、徒歩1分で運動公園入口に着く。ここには、野球場・サッカー場・テニスコートや、水神池を中心に、遊歩道などの公園施設がある。今回は、校区老人クラブのウォーキングをここに決め、11月5日、83名の参加者で実施した。

集合場所の公園入口前を南に歩くと、押しボタン式の信号がある。ここを左折すると、市道岩田町、東岩田1号線になる。私たちは、その道路を東に向かって歩いた。左側は公園でシ

・女子学徒殉難の碑（悲母観音像）26柱 豊橋高女・実修女学校・半田・地震

・豊橋高女戦没学徒碑・豊川海軍工廠48柱 ※2碑共裏面に名が刻まれている。

③魚町能面の鑑賞
豊橋観光ボランティアガイド元会長長原田守尉様、奥様が彫刻家の原田ちよ様が丁寧に解説、ありがたい。

④魚町神宮寺、身代わり地藏様など参拝

（参加者の感想）
新川校区にこんなたくさん宝物があった。感動で疲れも吹っ飛んだ。

イ・クス・ケヤキなどの大木が整然と生い茂り、右側は近代的建築風のマンションが並んでいた。しばらく歩き続けると、公園より喚声が続いてくる。野球の応援をしているようだ。間もなく市道8号線と交差する。ここを左折し北方に進むと、野球場の外野スタンド標示板などが見え、時々、大喚声が続いてくる。



水神池1周遊歩道を歩く

近くに公園入口の標識があったが、私たちは北へ向かって歩いた。しばらく歩くと、左側に神明宮が見える。拝殿の裏山には手入れのよいヒノキ林が空に向かって伸びていた。私たちは市道より、公園内の遊歩道に入り水神池を目指した。水神池は1周750mの遊歩道が整備され、遊歩道の両側は桜並木であり、池に水草が漂い、所々にカヤガ自生し、カモ類の冬鳥が泳いでいた。ここでは、多くの人が歩いたり、走っていた。「アంతら老人クラブで歩いとるタカン」「どこからきたダン」と交わす言葉も心地よい。私たちが気持ちのよい汗をかいている。歩け、終着点はそこにある。

芦原校区

年齢を忘れて歩こう

芦原校区老人クラブ連合会
石原 久男

11月2日無風、はじめ曇天後薄日が差す最良の日和に、「芦老連 みんなでウォーキング」を開催しました。会員45名の参加と、単位クラブの各会長にそれぞれ安全・救護などの責任者となっていた。午前9時に校区市民館を出発し距離約4km強・高低差約30m差の地元の名所・旧跡7カ所を伊藤会長の説明付きで歩

歩いて巡回を進めました。登り坂では息を切らしている方も出て心配をしていますが先頭より大きく遅れることもなく1カ所ずつ名所・旧跡の説明を受けながら次に進んで行き、約2時間半ほどの時間をかけ全員無事完歩いたしました。歩かれた方々はそれぞれ自身の体力に目覚められたのではないかと見えました。



途中紫雲寺公園で休憩したとき、また終了してからも、楽しかったので次回を計画してほしい旨の言葉を多くの方より頂き、ホッとしました次第です。

次は春に、花でも見ながらと考えているところですが、次はもう少し参加者が増えないかと期待しながら。

私たちは、豊橋市老人クラブ連合会の活動を応援しています

校区・単位クラブ活動

花田校区

ウォーキング大会について

稲場ダイヤモンドクラブ
高瀬捷重郎

天高く馬肥ゆる秋、私たち校区老人クラブ員参加者50名は10月25日(火)にウォーキング大会を実施しました。朝9時40分、ぼちぼち集合し、全員集合の後、戸鹿島花田校区老人クラブ会長のあいさつ、続いて地宗花田校区自治会長の



あいさつをいただき、10時5分に羽田上公園を出発しました。途中、羽田八幡宮にて全員で参拝、写真撮影。それなりに立派に写ったと思います。交通事故防止には、万全を期しながら次の目的地へ歩を進めました。イチビキ(株)の味の世界へのご案内をいただき、おいしい「みそ・しょうゆ」の製造過程を視察見学しました。実に素晴らしい環境が整備され、造られているので安心して食べられると思いました。さらに牟呂地域福祉センターまで3kmを歩く。途中会員の実に楽しそうな語りなどあり、歩を進めました。同センターは新しい建

物で、責任者の温かいもてなしを受け、昼食会場の集会所に移動しました。かなりの空腹のため非常においしくいただきました。食事休憩の後、牟呂八幡宮を参拝しました。

全般に言えることは交通ルールを守り、事故なく6・9kmを完歩したことが非常に良かったと思料します。来年も楽しく愉快に年2回ぐらいは実施したいと思います。

花田校区 「布のぞうり作り」を楽しむ

花二会
足立 征代

今年度、花二会のお楽しみ会は「布のぞうり作りで楽しもう」と会員に呼びかけ、10月12日(水)午前9時より花田校区市民館の集会所を借りて開催いたしました。



1台の作り機に2人が向き合って座り、4つ折りにしてヒモを掛け、その間を

講師には牛川町の星野清氏(78歳)、アシスタントに犬塚こずゑさんを招いて「ぞうり作り」の要領を丁寧に教えていただきました。

当日、集まった26名が同時に作業ができるように、木製の「ぞうり作り機」15、6台を並べ、材料となる色とりどりの細長い布と1メートルほどのヒモを配布して準備を整えました。

布で互い違いに編み込んでいきます。途中で「はな緒」を取り付け、残りの3分の1を編み、最後にヒモを引っ張って完成です。戦時中、子どもの頃に「わらぞうり」を作った経験者もあり、和気あいあいの談笑も楽しかったです。10時のおやつには、沖縄の「黒糖みるくせんべい」を頂き、昼食時には「お赤飯とちくわ」が配られておいしく頂きました。

1時過ぎには、大部分の方が作業を終えて出来上がりしました。「布のぞうり」を見せ合い、編み方の度合い、形、色の調和などを観点にして話し合いも弾みましました。「このぞうり素敵じゃん」「上手にできたね」とお互いに褒め合い、満足感が漂う笑顔がいっぱい見られました。皆さん、ご苦労さまでした。

牛川校区

フォークダンスサークル「モ・DAN」2周年祭

北町友和会 高原 真市

3年前、あるテレビ局の老人ホーム紹介番組の中で皆さんが楽しそうにフォークダンス(以下FD)を踊っている姿を見て、私たち高齢者にはとても良いスポーツではないかと思い妻に話したところ、この歳になつて参加してくだる人がどのくらいいるか分から

ないがやってみたらとの返事。ハイキング仲間や老人クラブなどに話をして平成21年8月18日(火)牛川地区体育館で開催。男性8名、女性22名、チロル二川15名、総勢45名。右も左も最初の1歩も分らない私たちをチロル二川の皆様が熱心にご指導くだ



さり、1曲また1曲と悪戦苦闘しながら覚えました。1曲終わるごとに喚声と拍手、休憩時間にはそれぞれがステップの練習。この時私は、この笑顔とこの熱意ある限りFDの会を継続していこうと決意したので

す。FDが終わり参加者全員に今後FDの会を続けていきたいかと問い、ほぼ全員の方々の賛同を得て今日に至っています。

そして第34回講習会を2周年記念と銘打って8月30日(火)に開催。男性8名、女性55名、チロル二川10名、総勢73名が「元気で仲良く

楽しく生きよう」をモットーに、FD、ゲーム、合唱と楽しいひとときを送ることができました。FDは適度な運動と曲、歌、ステップを覚え曲に乗せて踊ります。このことは脳の活性化を促すとても素晴らしいスポーツです。また、知らない人同士でも手を取り合って踊ればもう友達です。この出会い、この絆を大切に第2第3の人生に少しでもお役に立てれば幸いです。

私たちは、豊橋市老人クラブ連合会の活動を応援しています

会員随想

雲上の楽園

牟呂・汐田校区 坂津松寿会
横田 久枝

長野県と新潟県にまたがって聳える苗場山に登りました。あとひと踏ん張り頑張りながら4時間かかって山頂に上りました。

うわー、なんと素晴らしい景色でしょう。今までの苦労はごへや。見渡す限り池塘(小さな池)が点在。周囲4キロ四方の高層湿原に大小1000以上の池塘、干草のよつなすらつと伸びた草が水に映って夢のような景色、真つ青な空と非常にマッチしています。この世にこんな素晴らしい別世界があったのだろうか。これを「雲上の楽園」というのでしょうか。広い田園に苗を植えたように見えるから苗場山というそうです、納得です。湿原にめくらされた木道を歩いていて思わず「ヤッホー」。あれっ、天狗に聞こえたかな?

平坦な高層湿原の向こうには、鳥甲山、佐武流山、谷川連峰、越後三山などの山々が見え、今日は何と運のよいことでしょうか。もっと時間がほしい、いつまでもここにいたい、時計の針を止めておきたい。

山はいいなあ……。

この景色を一人でも多くの人に見せてあげたい。杖をついているおじいさん、おばあさんにまでも。地元の秋山郷は昔平家の落人が住み着いたといわれるところで、静かなよい村です。良質な温泉も湧き出ています。どうぞ、皆さま方お出かけください。

私の体験した怪奇現象

多米校区 第三和来会
岩瀬 勇司

私が体験した中国での不思議な出来事の一部を先回書きましたが、その時の金縛りになった後、旅行社の添乗員が部屋替えてくれ、西の棟の北端の部屋に移りました。ところがその部屋でも不可解な目に遭ったのです。

その夜半、誰かのドアをノックする音に目覚めたのですが眠くて無視すること。しかし執拗なノックについに根負け、起きてドアまで行き、内から声掛けしましたが返事がなく、ドアを開けても誰の姿もないのです。見通しが良く隠れる場所もないのに。腹を立ててベッドに戻り横になった途端、再びノックが始まったのです。

よく耳を澄ますと音の出る場所が前と違うのです。そこはドアを入った右側の

押入れの隅からで、最初は北側隣室の人の悪戯かと思いましたが、私の部屋は角部屋で隣室はないのです。これはひょっとすると幽霊の仕業か? とゾクゾクする思いが走りました。

しかし放つてもおけぬので勇を鼓して起き出し、押入れの戸を開けると中は空っぽ、誰もいません。しばらく押入れの前に立って彼の次の行動を待ったのですが何の気配もないのでベッドに。その時、またも三度目のノックが押入れの方から始まったのです。

これには私も降参し諦めて、するがままに任せただけでノックは延々と続いたのです。いつしか私も眠りに落ち、気付いた時には外は明るく音も消えていたのです。(続く)

きょうは何の日を聞いて

二川南校区 豊清長寿会
内藤 勝己

10月28日の朝、NHKラジオを聞いていたら120年前の今日は、死者3000人を超える濃尾地震の起こった日であることを見て、ふと私の頭の中を多くの思いが浮かんだのでした。

わが家の先祖も昔、西三河宮崎で大津波に遭い、恐ろしくなって安住の地を求

めて親戚を頼りこの地に移住してくださったとのこと。私4歳の頃、昭和19年のある日、奥の部屋で寝かせてある生まれればかりの弟を、必死に助けに向かう母が四つん這いになってす

ら前に進めないほどの大地震であったことを、母と同時代の加藤明様にお話ししました。「あの時はすごかったのう、大地震が二つ続けたのう、大地震が怖くて家で寝られず、半年竹藪で蚊帳をつつて寝たのう」などとお聞きして10年近くになりました。当時のことを記憶している最年少世代が私たちの世代ですが、悲しいかな太平洋戦争の末期でもあり、国益にそぐわないことは記録も報道も許されな

い時世でした。たとえば戦地で命からがら逃げまどう日本兵の姿を、新聞の見出しでは、「我が軍は軋身作戦を開始」などと書かれ、詳しい記録は残されていないようです。

後世のためにも今、80代のお元氣な方々の記憶をパネルにしても、昭和19年の大地震の被災状況を正しい歴史として、3月11日の大地震後、課題山積みの現在、今日までで無事に生かせていただいている今の年寄りの使命でもあるような気がして、このような文面を書かせていただきました。

老人クラブに入会して

多米校区 第三和来会
長谷川重子

会の内容もほとんど認識しないまま老人クラブに入会させていただきました。1年余り経ちました。誕生日が来れば傘寿の満80歳。このような高齢者を会員にしていたら感謝を感じておられます。また、日々経験も浅くご迷惑をお掛けしています。各行事にはでき得る限り参加しております。

会長さんはじめ役員の方々が、私たち地区の高齢者が少しでも活力ある日常生活を過ごせるよう、年間行事を企画してくださっています。一人でも多くの方が参加できるようにと、個人的に体力不足の方の補助まで骨身を惜しまず尽くしている様子に接し、身近なボランティア活動を認識し、感心させられております。今までの広報などその他で何となく見過ごしていた「東陽ふれあい音楽会」「高齢者セミナー」「東陽いきいきセミナー」講座「社会見学」、これらの社会的教育的行事もクラブに入会してこそ、自分自身で参加できるようになりました。

後期高齢者と一口で言えば簡単ですが、身体は「年々

歳々」「日々時々」変化してきております。副会長さんが書類の配付で訪問してくださいました時、雑談の片足で立っている状態だから、明日のことは分から

ない」と申しましたら、彼女は「明日がある」とおっしゃいました。それを聞いて「やっぱり若いな」と、思いました。そして人はそれぞれ思いが違うのですから、今後はこれを機会に一人ではいろいろ考えるよりも、できる限り数多くの方に接し、前を見つめて一日一日を大切に過ごしていきたいと思っております。

老人クラブのあり方についての提言

富士見校区
ニューレイク第一クラブ
美甘 万治

私はこの老人クラブに入会して4年になります。入会のきっかけは同じ趣味をもっている方に一緒に旅行に行かないかと誘われたことです。すぐに会長のお役を頼まれて4年が過ぎました。

今年の豊橋市老人クラブ連合会の総会で、会長から「新規加入者を一人でも増やしてほしい」という言葉でしたが、どうしたら皆さんが加入してくれるか考えました。

私が思うには、例えば70歳になったら全校区、全員が強制加入できる制度に市の条例を改定し、自治会、長寿介護課、その他の関係機関でサポートできる体制づくりが必要と考えます。そうすれば常に加入率は100パーセントで、クラブのない所はなくなり、会の役員の手が足りないから会ができないという現在の問題点も解消されます。

毎年若い新規加入者がいるため、会も若返り活性化されるし、同じ仲間が多くなるため、スポーツや会話が多くなり健康面でも元氣な高齢者になります。誰とも話をしない、引きこもりや孤独といった問題も解消されます。毎日が楽しい高齢者でありたいと思っておりますが、同じ思いの方も多くいると思えます。

思うだけでは前に進みません。市長・自治会長・豊橋市老人クラブ連合会長、その他市の関係部署の方々が会合で話し合い、今後のあり方について改善策を見出し出してください。

今は隣に誰がいるかわからないけれど、これからは万一災害などの時にも、お隣同士が助け合える環境整備が急務であります。



紀行 11・9 木曾駒ヶ岳

玉川校区 東森岡悠友会 河合 功恭

伊那地方に天竜川を挟んで二つの駒ヶ岳がある。東の甲斐駒ヶ岳に対して西の駒ヶ岳は一般的に木曾駒ヶ岳と呼ばれ、この地方では木曾駒を西駒ヶ岳と呼んでいる。



宝剣岳の核心部

この西駒に登るべく前夜自宅を出る。ロープウエーに乗って千畳敷駅に降り立つと紺碧の空に宝剣岳と連なる南稜がそそり立っていた。客の大多数はカール經由であるが、我々は社前を左の灌木帯に入る。左右左とトラバース気味な道を登ると、稜線に御岳、南了全山、富士山の大展望、極楽平である。まさしく極楽々と叫ぶ。

稜線を壮快に歩くと三ノ沢分岐で否応無しにモード切換えに迫られた。足場手掛かりに細心の注意が必要な岩場の連続が始まるの

である。岩塔の登りは鎖などがフィクスされていて快適なクライミングが久しぶりに楽しめたが、10mほどの垂壁を下降すると核心部で高度感、緊張感がさらに高まり、ぐっと気が引き締まる。岩の隙間トンネルを抜け、空中に突き出た岩棚を登ると宝剣岳のピークに出た。

狭いピークで順番待ちをして記念撮影。早々に下の肩の山荘に下ってホッと深呼吸。緊張感がいつぱんにほぐれ誰もとなく「お疲れ」と声を掛け合って行動食を取り出す。このひとときが最高の気分である。同行のYさん、O君とこの山の思い出山話に盛り上がるが、Yさん持参のコーヒーを沸かして終わる。目的地の木曾駒登頂にひたすら歩くが若いO君がうらやましいかぎりである。



木曾駒ヶ岳山頂にて

乗越浄土に帰って下を眺めると続々と登って来る人の列。すれ違う時のあいさつは程々に慎重に千畳敷駅に下る。

五穀豊穡の 願いを込めて

牟呂・汐田校区 三郷老人クラブ 伊藤 正光

「彼方ア湿地(田)の神イ、此方ア乾地(畑)の神イ、ハツケヨイ、ノコッタ」五穀豊穡を願う神輿の御前で行われる「神事相撲」の一コマです。ただし、無言で取り組みは進みます。神輿には当神社の御祭神「品陀和氣命(第15代応神天皇)」が鎮座されておられ、息を吹きかけるなど粗相のないように演者全員マ

スクをしています。この神事相撲は、牟呂八幡宮で毎年4月第2日曜日の例大祭神幸祭の道中で執り行われます。五穀豊穡を願うの神事相撲は全国各地の神社で行われていますが、忌竹を四方に立て前垂注連縄を張りめぐらせた「神籬」を祀って、さらに四隅に神の葉を七五三と置き「土俵(神域)」を造る。この中で神々が取り組みを行い、その勝敗で予祝を占うのは当神社のみといわれています。

いつから始められていたかは西暦697年創立(前身は牟留天神)以来、二度の大火災によってすべての記録を焼失し現在は不明です。幸いにも明治4年、当神社の宮司の森田家の古文書(現在豊橋市美術館所蔵)には当時行っていたことが記録されています。この神事相撲を豊橋市無形民俗文化財の指定を受けようと申請中です。今後も宮司、神職、氏子総代会、神事相撲保存会一同は散文しているであろう古い記録の探索、指定を受けることにより今まで以上に伝統の継承の自覚を持ち、子々孫々に伝えていく機運が高まり行事がますます盛んになることと思えます。

日々青年の心で

松山校区 広三白楽会 澤山 幸子

「グチと文句は下り坂、感謝の心はのぼり坂」私の好きな言葉です。体は77歳でも、年を重ねることに不思議と心が若返っていくような気がします。確かに顔のしわ、疲れは隠せませんが、1日を振り返ってみるとじいっとしていることはありません。いつも誰かとおしゃべりしたり、食べていたり、小物を作ったり、料理をしたり、結構忙しいです。それが健

康に良いのかもしれない。周りにも、良き先輩がいっぱいいます。毎日100回は腹筋をかかさないと90歳過ぎの方、踊りを続けてみんなを楽しませてくださる80歳余の方、そんなお年の方でも「みんなのお役にたつことは何か」と日々考えていらつしやる。それがスゴイ。本当にすごい。感動です。

悲しみが、今は懐かしい思い出にさえなっています。だからこそ、今の環境に満足するのではなく若い世代を育てていく責任もあります。それだけでなくは将来の発展はないと思います。若さはパワーと知恵、そして何より体力がみなぎっているのが今の世の中をこれからの国づくりをしていくのが青年です。子ども、孫はもちろん周りの若い人たちのため、私は何かをしたい。いや、私にできることなら何でもしてあげたいと思っています。



私たちの世代は戦後の大変な時を乗り切ってきた人ばかりです。あの苦しみが、

年だから年だからと思わず、頑張っている毎日です。

私たちは、豊橋市老人クラブ連合会の活動を応援しています

科学物質の時代

飯村校区 第二飯寿会
山本 富雄

医学の進歩は日進月歩、寿命は世界一といわれ、日本の 100 歳以上の粗食時代の

の方々には年々人口が増え続けている。団塊世代 60 歳以上の方々は、すでに働き盛りに多く亡くなり、高齢者はなくなるのではなからうか。それ以降の若者は生活習慣病人口がますます増え、1 歳からかかるようになった。昔はこの病気が成人病といい、40 歳くらいにならないとかならなかつた。国民医療費は年々増加

している。何が原因かといえは、科学物質に他ならない。古い方々は食品添加物に注意するが、それでもがんになるから若い人たちは気をつけなくても同じだと言つ。

昨年の地震で一層放射能に神経質になったが、科学物質はこればかりではない。口、鼻から忘れかけているダイオキシン、アスベストが空気中に飛散し、吸い込むと体内で内臓に石

ガラスの破片が突き刺さり発がんする。西洋菜 DDT (戦後アメリカから入ってきて昭和 30 年に禁止された農薬) は残留性が強く、90 年以上毒が消えない。安価

で効果が高いので在庫も多い。処分に困り奥山の 60 力所くらいへ捨てた。施された田畑も全国の飲み水も 100 年くらいは汚染の恐れがある。その他、目・耳・皮膚 (風呂からも浸入) から入り、限界に達すると健康な人でも病気になる。

国民皆病人、また半病人時代がきた。病院で末期がんの宣告を受けた患者を漢方薬のみで 90% 以上治す医者がある現代人は、体内に蓄積している毒が多い。アメリカにも腸を掃除し、さまざまな病気を治す医者もある。

農作業を手伝った覚えもあり、土に触れるのも嫌いでない。まずは畑の確保だが、実家の姉夫婦が高齢のため、畑とハウスまで借りることができ、野菜作り 1 年生としてスタートした。

近所では野菜作りには定評のある姉の指導の下、施肥、種まき、水やり、草取りと天下の作業には閉口したが、そんな時は東日本大震災被災地に思いを馳せ頑張った。また、農家の大変さも少しは実感できた。

ありがたいことに友人、知人から野菜の苗を無償で頂き、季節の野菜が青々と育ち収穫できた時の喜びはひとしおである。

季節の移ろいの中で

杉山校区 明日望会
鈴木 順子

今年の夏は暑かった。

高校卒業と同時に就職、58 歳で定年退職。その後、パート勤めを 10 年、その間に高齢者の仲間入りもし、2 年前の役員時、市公会堂で開催された高齢者大会の席上、事故体験発表という貴重な体験をすることもできた。

老後をのんびり過ごすのが夢だったが、すぐ上の姉から野菜作りを勧められた。私は農家の 4 人姉妹の末っ子で、子どもの頃は

農作業を始めて 1 年、農産物直売店の野菜、花の陳列コーナーに私の育てた野菜がわずかだが恥ずかしげに並んでいる。

農作業の傍ら、運動を兼ね愛犬の散歩、夕食の準備と 1 日があつという間に過ぎる。何気なく過ぎているけれど、健康だから働ける。週に一度はコーヒー仲間数人との楽しい語りも待っている。

花、野菜から四季折々の季節を感じ、元気をもらっている。健康な日常がいかに幸せて大切か、毎日感謝しながら愛車を走らせている。

私は今、地域バスの取り組みをしているが、思ったほどにはなかなか利用者数が増加してこない。農業に従事していると、スピードスプレーヤー、軽トラなどの農機を使わなければならぬ。そのため歳をとっても軽トラなど自動車に乗ることは当然であると思っ

のんびりライフは如何?

西郷校区 西川東部長寿会
今川 正弘

67 歳になったこの頃感じる

ことがある。人と待ち合わせをする時、1 時間以上も早く着き待つことになつても、待ち合わせた時間がすぐに来るためいらいらしないので済ませることができ

る。また、会議や打ち合わせなどをしている時、時間が過ぎるのが非常に早く、日の時間が極めて短く感じられるのである。これは人体の機能がゆっくりモードになつてしまったためなの

か。

私は今、地域バスの取り組みをしているが、思ったほどにはなかなか利用者数が増加してこない。農業に従事していると、スピードスプレーヤー、軽トラなどの農機を使わなければならぬ。そのため歳をとっても軽トラなど自動車に乗ることは当然であると思っ

ている。しかし動体視力は衰え、体内時計だけでなく反射神経も遅くなつても大丈夫であろうか。食生活においても最近ではファストフードからスローフードに代わりつつある。

「柿の里バス」を利用するには停留所まで行き、目的地まではやや時間がかか

戦争跡を訪ねて

飯村校区 第二飯寿会
西川 文子

的だが、「柿の里バス」を病院などへの通院に使つただけでなく、時には暇を作つて夫婦や孫と、また友達と一緒に「柿の里バス」に乗って喫茶店やレストランで美味しいものを飲んだり、食べたりしながら身近な日常生活上の出来事や趣味などを話し合つたりして、のんびりライフを満喫するのも良いのではないか。

今後は自分にとって残された時間をゆとりを持って安全に過ごさなければと思ふ今日この頃である。

元氣なうちに九州の戦争跡を旅したいと思ひ、一昨年夏、息子夫婦と共に知覧・長崎・広島を訪ね合掌してまいりました。戦争敗戦を体験した私は当地で見ると胸を打たれました。知覧の特攻平和記念館に至る庭園には母を想う短歌の石碑。涙ながらに詠み、石碑をなで続けました。会館内には飛び立つ前の遺書が一面に展示され、「お母さん、お国のために先に逝きます。お許しください」と前途ある青少年たちの決死の思いに胸がつまり思わず手を合わせ心中で読経してお



りました。私は郷里福井で B29 の 120 機もの空襲に遭い、当時やつと 1000 日の長男をおぶつて祖母と命からがら防空壕に滑り込み奇跡的に助かつたのです。

松原泰蔵先生の本に書かれた、戦犯に問われ刑死した上野千里軍医のことが忘れられません。彼は収容中の米軍捕虜を上官の銃殺命令に背き「科学者として医者として」の良心に忠実であれと自己を励まし、彼らに外科手術を施します。しかし彼の知らぬうちに処刑されてしまい、戦後捕虜虐殺の罪を受け刑死。遺書に「愛する妻子を捨て愛する老母を捨てても私には捨てられぬ日本人としての魂と男の操があつた」と好子夫人に送っています。

上野氏のこの志を世界の人々が持てるなら、今世界のあちこちで起きている流血の争い事がなくなり、どんなに愛に満ちた平和な世の中になることでしょう。空襲に遭い、死んでも不思議でなかつた私。生かされたこの命の限り、平和を祈り続けたいと思います。

私たちは、豊橋市老人クラブ連合会の活動を応援しています



会員文芸

俳句

■岩田校区

平岡区老人クラブ若竹会

蝉七日余命を計る傘寿かな

白井 善晴

■岩田校区 東岩田長寿会

石路咲いて夕べ明るきひと所

片桐 幸枝

河川敷赤く染めたる彼岸花

加藤カツエ

■豊校区 西岩田親睦クラブ

肩出して盛り上りたる大根引く

金田 英子

■松山校区 前田南町第一長寿会

「春深し」

絵馬むすぶ恋人岬春深し

森田 光子

■松山校区 東松山町睦クラブ

換気扇フル廻転に秋刀魚焼く

荒井須磨子

■八町校区 旭第一寿会

山々の間に見える朝日かな

中村 恒道

■谷川校区 中原町立岩会

茶の花や白色五弁金の蕊

朝倉 政敏

人生を紡ぐよすがに日記買ふ

池田すみ江

風に浮き芳香届きぬ金木犀

石田 たか

防災の日の焚出しや今年米

石田 輝伸

盆花や人去り止まぬ位牌堂

石田 保雄

茶の花や日和り続きの老球技

稲葉 春夫

宵宮のきしむのぼりや虫の声

川合 幸子

湯けむりと花と佛と旅重ね

堤 昭雄

餅投げの櫓囲みぬ村祭

寺村たづ子

■杉山校区 みその俳句会

白波のしぶく岬や九月尽

花井 稔

丑三つに救急車の音十三夜

市川 淑洋

義政も名月を見し銀閣寺

田中 秀幸

やや寒の峠十度の温度計

彦田 純子

継続はちからと信ず神無月

竹内 澄子

やや寒や病む友いかにと便りせむ

井土 幸子



■向山校区 第一向山二区紅葉会

出無精な老いを連れ出す菊日和

牧野 桂子

久々の逢瀬たのしむ良夜かな

鈴木 都

■多米校区 第三和来会

沢の音汗ばむ肌心地よき

丸山 博子

秋晴に校区イベントみな笑顔

小村とみ子

■老津校区 老津俳句会

粧ひも終りてまるく山眠る

石田 初江

この畑地なりやと冬の草

彦坂 博子

冬耕や小石をはじく鎌の先

中村きよ子

樹々の手につる草巻きて山眠る

西崎 紘子

マフラーに速き日の歌よみがへる

別所 善子

■豊校区 西岩田親睦クラブ

花の下若き仲間と輪になりて

撮りし写真のわが背の圓き

金田 英子

■豊校区 第三寿会

鎌を背に歩く畦道日脚伸ぶ

幾田 哲夫

■小沢校区 第二寿会

激湍に添ひて静かな千大根

朝倉 光夫

■小沢校区 第三寿会

細き目の子象も可愛い医師のあと

本馬 孝子

■豊校区 西岩田親睦クラブ

花の下若き仲間と輪になりて

撮りし写真のわが背の圓き

金田 英子

■豊校区 第三寿会

鎌を背に歩く畦道日脚伸ぶ

幾田 哲夫

■小沢校区 第二寿会

激湍に添ひて静かな千大根

朝倉 光夫

■小沢校区 第三寿会

細き目の子象も可愛い医師のあと

本馬 孝子

■豊校区 西岩田親睦クラブ

花の下若き仲間と輪になりて

撮りし写真のわが背の圓き

金田 英子

■飯村校区 シニアクラブ同好会

「金婚旅行にて」

山谷越え妻と旅して五十年

木曾路の宿で苦勞を流す

長坂 一昭

■東田校区

東雲町老人クラブ和友会

我が街は市電の走るエコの街

ゆっくりゆられこれも又良し

松田 陽子

■栄校区

山田町老人クラブ若葉会

山峽を染めて織りなす紅葉の

究極の美感動に酔う

藤村ゆきゑ

■松山校区 東松山町睦クラブ

「穂の国」

穂の国の棚田に魅せられ登る吾

杖つく爺と柴犬追越す

河合 實

■牟呂・汐田校区 坂津松寿会

青き海孫のヨットの帆を揚げて

優勝めざし漕ぎ出してゆく

横田 久枝

■幸校区 南松原寿会

折々に吾が目の前を吹き抜ける

母は清かな秋風になり

大橋 睦子

久方の光のどけき山里に

談笑しつつ枋餅を揚ぐ

菅谷 益夫

■老津校区 老津喜楽会短歌教室

風去りて木々立ち直る初冬にて

夕日静かに山の端に入る

石田 初江

人生に山谷あれど家族愛

前向き志向で感謝忘れず

鈴木きみゑ

世の中は狂いはてて家の庭

桜の花もちらばらと咲く

鈴木 元恵

恐るべし運転中に携帯の

マナーの悪きここに極まる

中村 弘子

母の形見取り出す度に思い出す

なぜかこいしく温もりありて

伴 幸子

時期過ぎし南瓜冬瓜眺めては

今日こそおいしいメニューに挑戦

伴 夏枝

友遊きて一期の別れ告げたれば

地声で歌え冬銀河

伴 匡晃

秋深き野菜の育ち良好で

仕事に追われ感謝する日々

彦坂 貞子

おじいちゃん西瓜おいしいねと四歳の孫

当りまえだと空咳一つ

柵木 良行

金婚の祝詞いただきあらためて

夫の傘寿を家族で祝う

柵木 早苗

暖かき冬の日に汗をかき

土にまみれて芋掘りをする

三浦 松代

■小沢校区 第二寿会

手術後に医師より電話ありがたき

心もなごみ如月の夜

本馬 孝子

■大崎校区 大崎第一クラブ

黄金色の稲田を飽かず眺めつつ

先祖と家族に感謝の手合わす

山本 絹代

■大崎校区 大崎第二クラブ

もぐら除けの煙草の吸い殻歌毎に

撒き冬作植え付け終わる

田中さな江

■大崎校区 大崎第三クラブ

身の丈に余る畔草刈り終えて

敬老会に安堵して行く

近藤美代子

校庭の櫓かこみて踊りの輪

太鼓や笛の音響く盆踊り

高田よ志子

■杉山校区 明日望会

週一度友と集いし喫茶店

話題広がり笑みの花咲く

鈴木 順子

川柳

■豊校区 西岩田親睦クラブ

若き等の太鼓とおんと胸板に

金田 英子

■杉山校区 明日望会川柳

いたわりの声にはろりと八十路坂

彦田すみ子

ローカル線の景色に見とれ途中下車

竹内 澄子

花生けてうまく出来たと自負してる

井土 幸子

足元の名もなき花に手を伸ばす

田中 秀幸

朝市で値引き上手な主婦の声

市川 淑洋

ばあさんが駄目の一声怖い慣れ

花井 稔

■八町校区 旭第一寿会

人生は辛い時ほど頑張ろう

中村 恒道



防火教室



体操教室



《インタビュー》
単位クラブ紹介

飯村校区・第二飯寿会に
お邪魔しました！

インタビュアー／(株)博報社

全国の老人クラブで『会員の高齢化』『若手の新規加入会員減少』が課題に挙げられる中で、飯村校区・第二飯寿会では会員のおよそ3分の1を60代が占めています。若手の発想と行動力を生かして、クラブに「新しい風」を巻き起こすその姿に密着します。

◆若手の力で再生を遂げる

平成19年、62歳の若さで会長に就任した中野毅会長が、最初に取り組んだのが加入促進でした。現在124名（平成23年6月時点）が在籍する同会も6年前は現在と比べて約半数の62名、減少の一途を

迎っていました。そこで新しい仲間を増やしクラブの活性化を図るべく、会長はじめ60代の役員が中心となって活動をPRして回ったのです。『入会のご案内』のチラシを配るなど地道にPR活動を続ける中、行事への体験参加を企画。「思ったより楽しいね」「あの人が入っているなら私も入ろうかな」という体験者が加入し、自然な形で毎年10名ずつ増えていきました。

◆新しい行事を次々に実施

会員数が100名を超えた平成21年10月からは、これまで同じ校区の第一飯寿会と合同で行っていた行事を、第二飯寿会単独で行うようになりました。それに伴って新しい行事を次々に企画。中でも

れながら約1時間半、無理をせず、ゆったりとした動きで体をほぐしていきます。

その他、これまで実施していた『カラオケを楽しむつどい』を一昨年から『趣味の演芸を楽しむつどい』にリニューアル。カラオケ以外に大正琴や踊りなど演目の幅が広がり、第2回開催となった昨年11月は大勢の参加で賑わいました。

「家に閉じこもらず外に出てもらうことが大切。そういう機会をたくさん作っていきたい」と行事推進に向け意欲をみせる中野会長。今後の課題と語る『後継者の育成』を進めつつ、さらなる「風」を吹き込みつつつけています。

趣味の教室発表会
のお知らせ

日程	ブロック	日程	ブロック
2月25日(土)	大清水	3月15日(木)	八町
3月7日(水)	牟呂	3月17日(土)	大岩
3月8日(木)	下地	3月17日(土)	高師
3月11日(日)	つつじが丘	3月17日(土)	石巻
3月13日(火)	仁連木		

※つつじが丘・牟呂・大清水・八町は地域福祉センター
それ以外は老人福祉センターで行われます。

編集後記

吉田春秋をお届けします。今号もたくさんのご投稿をいただき、ありがとうございます。ありがとうございました。広報文化部では、皆さま方の「意見・投稿」などを待ちしております。

今後とも読みやすく楽しい紙面づくりに努力してまいりますので、よろしくご支援をお願い申し上げます。豊橋市老連 広報文化部

原稿募集

◎校区活動、単位クラブ活動、俳句、短歌、川柳、随想、写真やイラストなどの投稿を募集します。

◎原稿用紙600字。俳句・短歌・川柳については各1点ずつ、写真はきれいなものをお願いします。

◎必ず、校区名・単位クラブ名・氏名を明記してください。

◎紙面の都合上、やむなくカット・見送る場合があります。

◎締め切り／5月末日
◎投稿先／豊橋市老人クラブ連合会事務局
(豊橋市今橋町1番地・豊橋市役所長寿介護課内)

51・2337



ご協賛各位へのお礼

この度「吉田春秋」の発刊にあたりまして、広告掲載のご協力を賜り誠にありがとうございました。

本紙は、会員が生きがい・健康・教養を高めながら交流の輪が広がるよう願って刊行いたしております。

今後とも何とぞ末長きご厚誼、ご支援をお願いいたします。

豊橋市老人クラブ連合会

私たちは、豊橋市老人クラブ連合会の活動を応援しています